

## WB実修所への参加にあたって（ボーイスカウト課程）

青森県連盟指導者養成委員会

ウッドバッジ実修所は隊指導者訓練の上級訓練として位置づけられ、ウッドバッジ研修所を修了し最低1年間のプログラム展開を経験した隊指導者を対象とし、「プログラム推進能力の向上」に特化した訓練が実施されます。

また、ウッドバッジ実修所は

第1教程：課題研究～部門別に設定された課題に取り組む

第2教程：基本訓練～部門別の集合訓練・4泊5日の野営

第3教程：実務訓練～自隊で取り組んだ結果を報告する

により構成されますが、第2教程では、スカウティングの本質の理解を高めるために高度の班野営を体験することから、第2教程へ進むためにはスキルトレーニングを修了することが必須となっています。

ボーイスカウト隊の隊長としてのプログラム推進能力向上を目的とするこの訓練は、ボーイスカウトの訓育に責任を持つ隊長の皆様には、本来あるべき姿のスカウティングについて理解を深め、自隊のスカウトに良質のプログラムを提供していくために、是非参加していただきたいものです。

また、すべての教程やスキルトレーニング等においてトレーナーが直接支援しますので、まずは団委員長へ参加の意思表示をしてください。

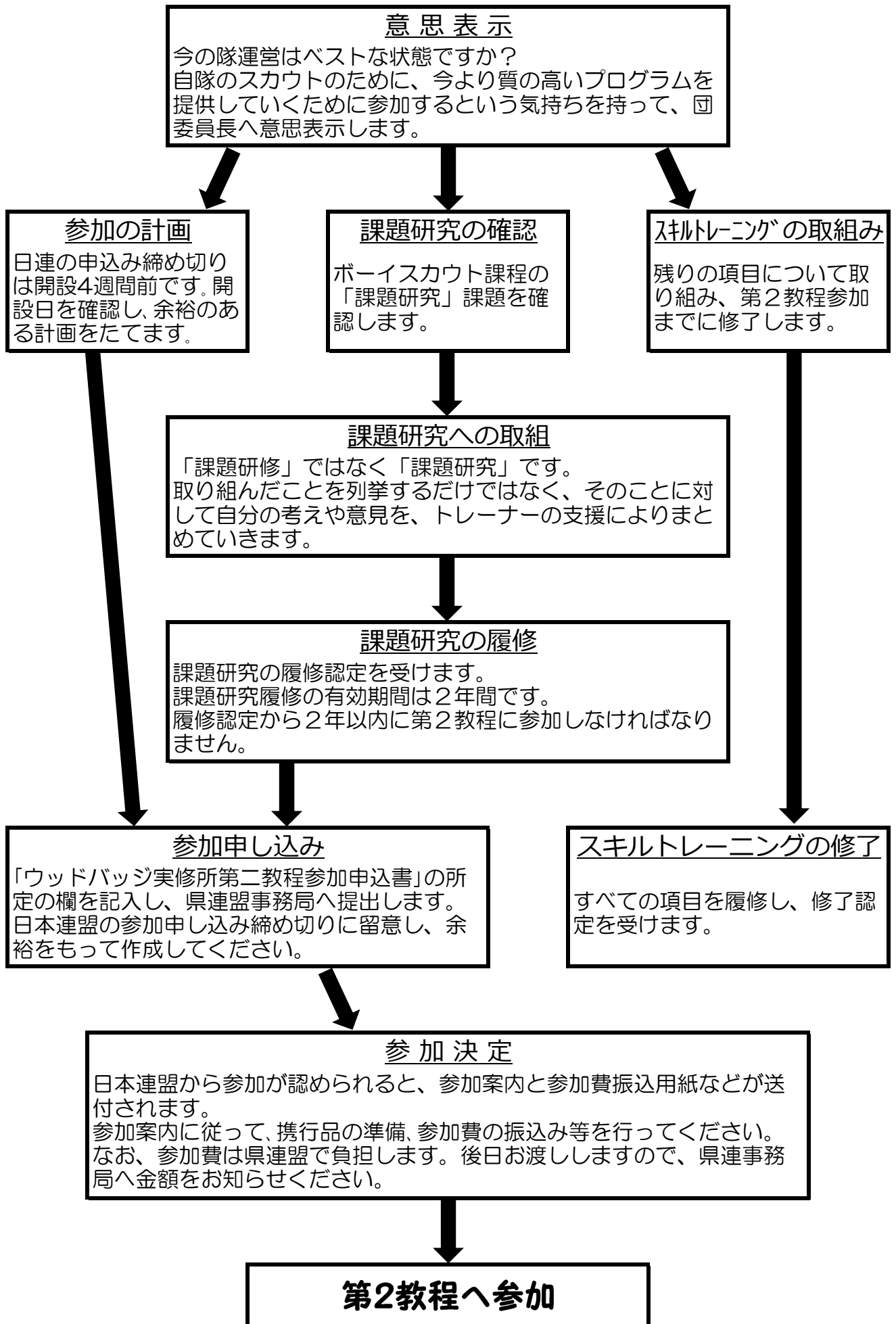
### 団委員長へのお願い

課題研究やスキルトレーニングの履修にはある程度の日数を要します。

またすべてトレーナーの支援により進めていきますので、参加の意思を確認した後、できるだけ早い時期にトレーナーまたはコミッショナーへご連絡ください。

第3教程の取り組みについては第2教程の中で説明されるので、ここでは、第1教程・第2教程について説明します。

まず、第2教程へと至る流れについて説明します。



次に、課題研究への取組について説明します。

第2教程は、自隊の課題、問題点の改善や解決を図り、自隊の隊運営、特にプログラムプロセスに反映させることに意義があり、自身が所属している部門の実修所へ参加することを前提としています。

また、第2教程で効率の良い学習をおこなうため、以下により事前に課題研究に取り組んでいただきます。

課題研究の履修は、トレーナーが認定します。

**課題1 班長会議を開催し、スカウトの憧れや興味を新たに集約し、**

**① 集会 ② 班長訓練**

**の各計画書を作成してください。**

- (1) 課題1では、スカウトのニーズを集約し、スカウトをワクワク、ドキドキさせる活動を提供するための方法を考えます。
- (2) 集約したニーズに基づき、1回分の隊集会計画書を作成してください。
- (3) 隊集会を実施するために必要となる班集会計画書を作成してください。
- (4) 班集会を実施するために必要となる班長訓練計画書を作成してください。
- (5) 各集会の計画書は、リーダーハンドブックに掲載されている様式を活用してください。

**課題2 課題1－①の隊集会を行うためのプログラムプロセスを図示し、実行のために必要な留意点を記述してください。(プログラムプロセスには、班会議、班長会議、班長訓練、班集会(班の活動)、隊集会が含まれること)**

- (1) プログラムプロセスとは、プログラムの立案からプログラムの実施、プログラムの評価反省までの、プログラムに関わる一連の流れや人的管理を含むものです。

課題2では、隊集会を行うために、どのようにプログラムプロセスを活用するとよいのかを考えます。

- (2) ボーイスカウトのプログラムプロセスは、
  - ① 班会議(月間テーマに基づくヒント・アイディア出し)
  - ② 班長会議(隊集会、班集会の内容計画)
  - ③ リーダー会議(隊集会、班長訓練の計画)

- ④ 班長訓練（隊長主導による、班長への隊集会実施に必要なスキルの指導）
- ⑤ 班活動（班集会の計画）
- ⑥ 班集会（班長から班員への隊集会実施に必要なスキルの指導）
- ⑦ 隊集会（班活動発表）
- ⑧ 班長会議（隊集会の評価）

の流れにより実施されますが、班の競争の場である隊集会で勝つために班で秘密訓練をおこなうなど、スカウトをワクワク、ドキドキさせる活動を提供するために、プロセスの場面ごとにどのような点に留意すればよいかについて考えていきます。

(3) ウッドバッジ研修所の資料を再読、また隊長ハンドブックを熟読し、次の表を参考に、プロセスごとに記述してください。

	留 意 点
班 会 議	
<hr/>	
班 長 会 議	

**課題3 自隊の現在の年間プログラムを活動内容および進歩課程の観点から評価し、改善点を記述してください。**

(1) 課題3では、自隊の年間プログラムを評価し、活動内容、進歩課程の観点からボーイスカウト活動に照らし合わせて見直し、何が問題なのか、どこが問題なのかを洗い出し、改善点を考えます。

(2) 次の表を参考に、隊集会ごとに、

- ① 活動概要
- ② 進歩の組み込み状況
- ③ 改善すべき点

を記述してください。

	活動の概要	進歩の組み込み状況	改善すべき点
9月			
<hr/>			
8月			

(3) 自隊の年間プログラムを添付してください。

- 課題4** ① 団会議、団委員会の機能と役割を記述してください。
- ② 課題2の隊集会を実施するために、団委員会やその他からどのような支援が必要か、どのように協働するか等について具体的に記述してください。

- (1) 課題4では、スカウトにより良い活動を提供するために、自分は、団からどのように、またはどのような支援を受けることができるのかを具体的に考えます。そのために、団会議、団委員会の機能と役割を理解します。
- (2) ①は、団会議と団委員会の機能と役割をそれぞれ列挙してください。機能と役割については、「団の運営と団委員会」で詳しく説明しています。
- (3) ②は、課題2の隊集会を実施するために必要と思われる支援を項目立てし、誰から支援を受けるのかを項目ごとに記載してください。

ここでの「誰」は、団関係者のみならず、県連や地区、また地域社会や個人・団体など、あなたや団を取り巻く環境を思い起こし、幅広い視野により考えてください。

- 課題5** 実際に行われた隊集会3回分について、計画書を持参するとともに、プログラムプロセスの各過程それぞれの評価と改善点を記述してください。(行われていないプロセスの過程については行うための改善策を記述してください。)

- (1) 課題5では、課題2でのプログラムプロセス(あるべき姿)と自隊がおこなっているプログラムプロセス(現状)とを比較し、自隊での問題点、課題を洗い出します。
- (2) 実際に行われた3回の隊集会において、それぞれの会議や集会が自隊で行われているのか、いないのか、スカウトの進歩は組み込まれているのか、いないのか、その問題点は何なのか、改善すべき点は何か、またそのことによってスカウトにどのような効果が期待されるのかということも併せて考えます。
- (3) 次の表を参考に、プロセスごとに、3回分の一覧表を作成してください。

○月隊集会	現 状	問題点	改善策	得られる教育的効果
班会議				
班長会議				

- (4) 自隊の隊集会実施計画書を添付してください。

**課題6 プログラム作成において、自身が解決したい問題について列挙してください。**

(1) 課題6では、活動プログラムの作成を支援する際において、自分自身に不足していることやもっと知りたいことなどを、知識・技能・心構えに分け、第2教程におけるあなたのニーズを明確にします。

(2) これらのニーズを

**知識…… ○○のために○○を理解したい。**

**技能…… ○○のために○○を身に付けたい。**

**心構え… ○○のために○○を知りたい。**

といった書き方で、箇条書きで記述してください。

## 「課題研究」の提出方法

- A4判の用紙に横書きで課題毎に記述し、左綴じとしてください。
- 「ウッドバッジ実修所第一教程（課題研究）」に必要な事項を記載し、表紙として下さい。
- 「ウッドバッジ実修所第一教程（課題研究）」には、課題ごとに指導をして下さったトレーナーの役務とお名前、指導・助言の内容を記入しますが、書いていただいても、自分で書いてもどちらでもかまいませんので、担当トレーナーにご相談ください。
- 課題研究の認定はトレーナーです。認定トレーナーの欄に署名をいただくとともに、課題研究と一緒に必ず指導者手帳を提出してください。
- 第2教程の参加申込にあたっては「ウッドバッジ実修所第二教程参加申込書」をその上に付けてください。第2教程の参加申込時には指導者手帳は提出する必要はありません。

各書類の様式は、日本連盟HPの「加盟員情報」→「ダウンロード」→「指導者訓練」のページから最新のものをダウンロードしてください。